

(お知らせ)

※ 数値等は全て速報値のため、
今後変更される可能性があります。

福島県沖を震源とする最大震度6強の地震に係る災害派遣等について

令和3年2月14日
防衛省

概要	① 2月13日(土)2329以降、陸上自衛隊東北方面航空隊(霞目)、海上自衛隊第21航空群(館山)、航空自衛隊第6航空団(小松)等の航空機により上空からの被害情報の収集、映像伝送を実施するとともに、第22即応機動連隊(多賀城)及び第44普通科連隊(福島)の初動対応部隊により地上からの被害情報の収集を実施。 ② 14日(日)には最大5県(福島・岩手・宮城・千葉・栃木)55市町村に連絡員(LO)を派遣し、情報収集等を実施。 ③ 14日(日)、陸上自衛隊のCH-47×1機及びマイクロバス1両により、木更津駐屯地～福島県庁までの間、内閣府調査チームの輸送を実施。 ④ 14日(日)0900、福島県新地町において約300世帯が断水していることから、福島県知事から陸上自衛隊第44普通科連隊長(福島)に対し、給水支援に係る災害派遣を要請。 - 同日0920以降、陸上自衛隊第44普通科連隊(福島)の支援部隊が新地町役場に向け出発を開始。 - 同日1300、第44普通科連隊(福島)の3個支援部隊をもって新地町役場、福田小学校等において給水支援を実施。
活動部隊	○ 陸上自衛隊東北方面航空隊(霞目)、東部方面航空隊(立川)、第6飛行隊(神町)、第20普通科連隊(神町)、第22即応機動連隊(多賀城)、第44普通科連隊(福島) ○ 海上自衛隊第2航空群(八戸)、第4航空群(厚木)第21航空群(館山) ○ 航空自衛隊第6航空団(小松)、第7航空団(百里)、百里救難隊(百里)、松島救難隊(松島)
活動態勢	① 航空機約20機により、上空からの被害情報収集、映像伝送を実施。 ② 初動対応部隊約60名により、地上からの被害情報収集を実施。 ③ 最大5県(福島・岩手・宮城・千葉・栃木)55市町村に対し、合計140名の連絡員(LO)を派遣。 ④ 約30名態勢(合計3個支援部隊(1個支援部隊当たり人員8名、水トレーラー2両/計:人員24名、水トレーラー6両)により、給水支援を実施) ※ 後方支援要員を含む



駐屯地を出発する初動対応部隊
(第22即応機動連隊)



夜間時に情報収集のため離陸するヘリ映像伝送機